



絶対無いと思ってた でも絶対じゃなかった

SOUNDS LIKE SHIT

the story of Hi-STANDARD



Directed by Wataru Umeda

製作：SOUNDS LIKE SHIT PROJECT 配給：NexTone inc. ©2018 SOUNDS LIKE SHIT PROJECT

2018.11.10 全国ロードショー

soundlikeshit.net



Hi-STANDARDの栄光と挫折、 再始動の裏側に迫ったドキュメンタリー映画!!

**SOUNDS
LIKE
SHIT**
the story of
Hi-STANDARD

2018年9月9日、7年前に奇跡の再始動を遂げたパンクバンド Hi-STANDARD は、ZOZO マリンスタジアムで開催された<AIR JAM 2018>を大成功に導いた。3人が放った圧倒的な熱量と凄まじい演奏、そして会場を包み込んだ温かな一体感は、驚くべきことに、18年も前に同じ場所で行われた<AIR JAM 2000>以上の光景を描き出した。今作は、今なお進化を続ける日本を代表するパンクバンド Hi-STANDARD の栄光と挫折、そして誰もが予想しなかった再始動の裏側に迫ったドキュメンタリー映画である。



Hi-STANDARD が結成された 1991 年は、ちょうどバンドブームが終焉を迎えた頃だった。あれだけ賑わったライブハウスからは人がいなくなり、バンドはダサイものとして扱われていた。しかし、Hi-STANDARD の 3 人は希望に満ちていた。速くてメロディアスなパンクロックという、後にとんでもない数のフォロワーを生み出したサウンドを志向した彼らは、がむしゃらに自分たちの音楽を追求し続けた。その結果、彼らの評判は口コミで広がっていき、閑散としていたライブハウスに人が戻ってくるようになる。

そこからの勢いは凄かった。1st アルbum「GROWING UP」、2nd アルbum「ANGRY FIST」と作品を出すごとに人気を拡大し、1998 年に開催された主宰フェス<AIR JAM '98>には 3 万人もの観客が集まった。海外への進出も果たし、1999 年には自主レーベル PIZZA OF DEATH RECORDS を設立。そして発表された 3rd アルbum「MAKING THE ROAD」は全世界で 100 万枚以上のセールスを記録し、Hi-STANDARD の人気は絶頂を迎えた、かのように見えた。<AIR JAM 2000>を最後に、Hi-STANDARD は人知れず活動を停止したのだ。その裏には、ひと言では語り尽くせない 3 人の様々な感情が渦巻いていた――。

シーンを駆け上っていった 90 年代、沈黙を保った 00 年代。活動停止の真相とそれぞれの思いを語るメンバーの言葉は非常に生々しく、これまで事実として認識されていたストーリーと異なる場面があることに気付くだろう。それを裏付ける当時の映像はほとんどが初出のもので、思わず体に力が入る。数々の発言や映像を通じて、様々な困難を乗り越えながらも DIY であり続けることの意味を感じ取れるだろう。メンバーがここまで赤裸々に語る音楽ドキュメンタリー作品は他に類を見ず、巧みな編集と相まって、すさまじい緊張感がスクリーンから伝わってくる。

Hi-STANDARD の活動が止まってから 10 年以上が経過した。誰が見ても修復不可能だと思われていた 3 人の関係性は、東日本大震災をきっかけに大きく変化した。<AIR JAM 2011>や東北開催となった<AIR JAM 2012>、16 年ぶりとなる新曲「ANOTHER STARTING LINE」の発表、<AIR JAM 2016>の開催、18 年ぶりとなるフルアルバム「THE GIFT」の発表とそれに伴うアリーナツアー。ハイスタは完全に蘇った。しかも、10 年代の 3 人には 90 年代を上回るパワーが備わっていたのだ。

冒頭にも書いたように、これは Hi-STANDARD の歴史を振り返るドキュメンタリームービーだ。そして、彼らの物語はこの先もまだまだ続く。それはなんと幸せなことだろうか。

SOUNDS LIKE SHIT: the story of Hi-STANDARD

出演: Hi-STANDARD | 監督: Wataru Umeda | 製作: SOUNDS LIKE SHIT PROJECT | 配給: NexTone inc. | ©2018 SOUNDS LIKE SHIT PROJECT | 2018年 カラー 日本 DCP

11.10 sat 新宿バルト9他、全国の劇場にて順次公開!